

スタートメニュー・デスクトップ・ウィンドウ(new)

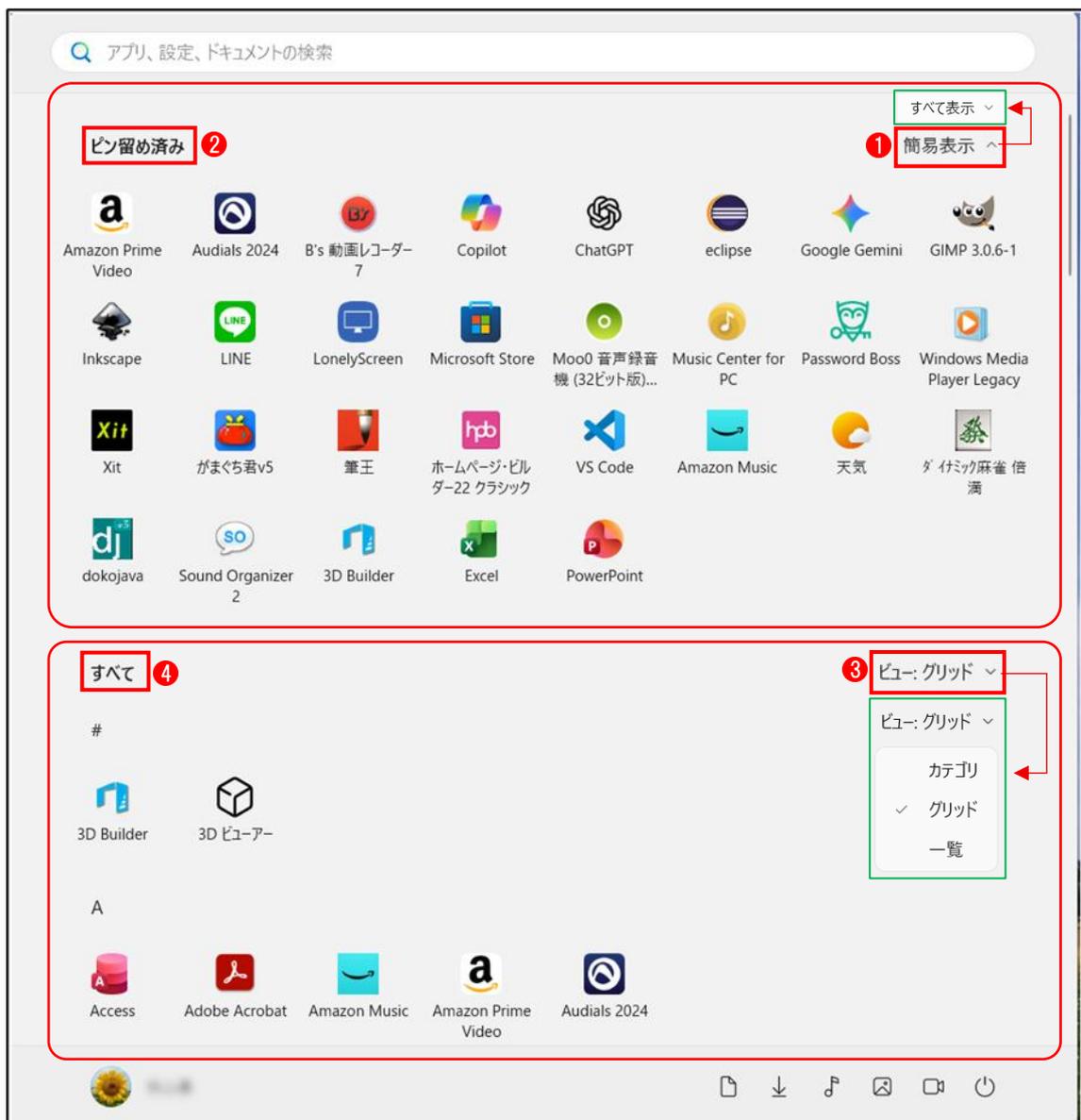
1 <スタートメニュー>の操作方法

Windows11 の<スタートメニュー>は、2026年10月のWindows11 updateによって、アイゼンよりも使いやすいデザインになりました。

(1) <スタートメニュー>からアプリを起動する

<スタートメニュー>は、デスクトップの画面中央下にある<スタートボタン>をクリックすると表示されるメニューで、Windows 11 のさまざまな機能やアプリを実行するために欠かせないものです。

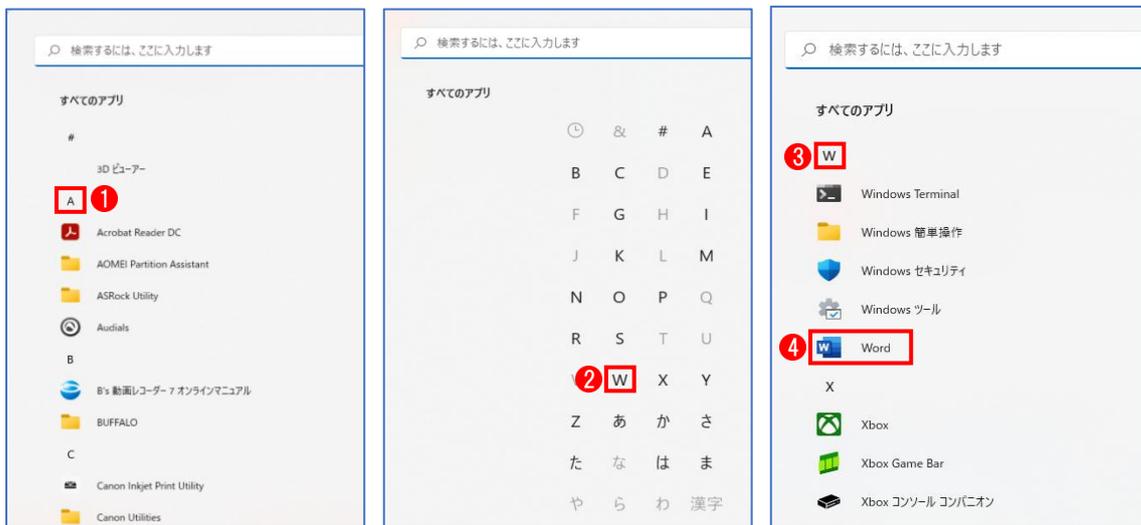
- ① タスクバーの<スタートボタン>をクリックすると、<スタートメニュー>画面が表示されます。



(2) 起動したいアプリを「頭文字」から探して選択する

<すべてのアプリ>から簡単に目的のアプリを探す便利な方法があります。

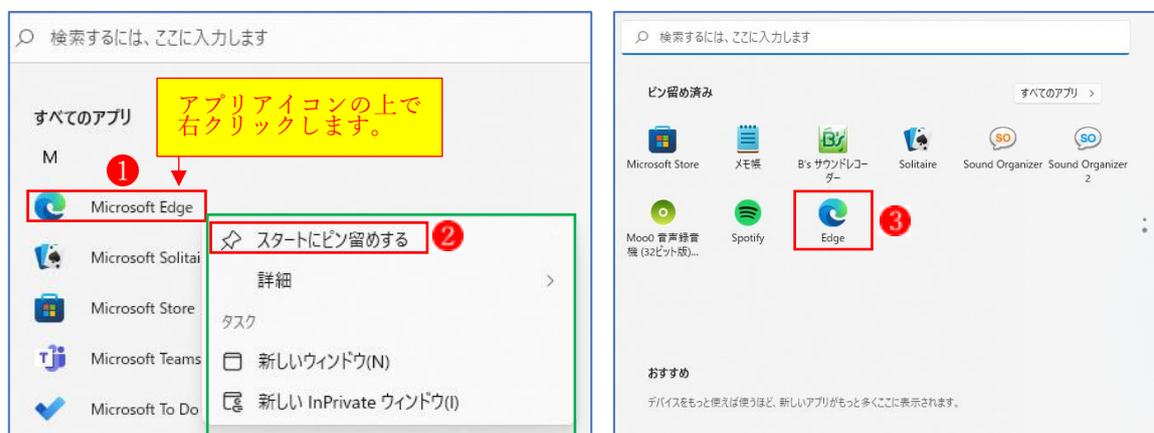
- ① <スタートメニュー>から<すべてのアプリ>を表示し、「A」、「B」などの頭文字（どの文字でもよい）をクリックすると、「頭文字」の一覧が表示されます。
- ② 起動したいアプリの「頭文字」をクリックします。
- ③ その頭文字のアプリ群が<すべてのアプリ>の一番上に表示されます。
- ④ その中から目的のアプリを選択します。



(3) よく使うアプリをピン留めする

スタートメニューを開くと最初に表示される<ピン留め済み>欄には、初期状態でもいくつかのアプリが配置されていますが、自由にアプリを追加することが可能です。後からインストールしたアプリなど、よく使うアプリのアイコンを追加して、すぐに起動できるようにしておきましょう。

- ① <すべてのアプリ>画面を開き、「ピン留め済み」欄に追加したいアプリ①を選択します。
- ② 右クリックメニューから<スタートにピン留めする>②をクリックします。
- ③ これで<ピン留め済み>画面の最後のページの末尾にアプリのアイコン③が追加されます。

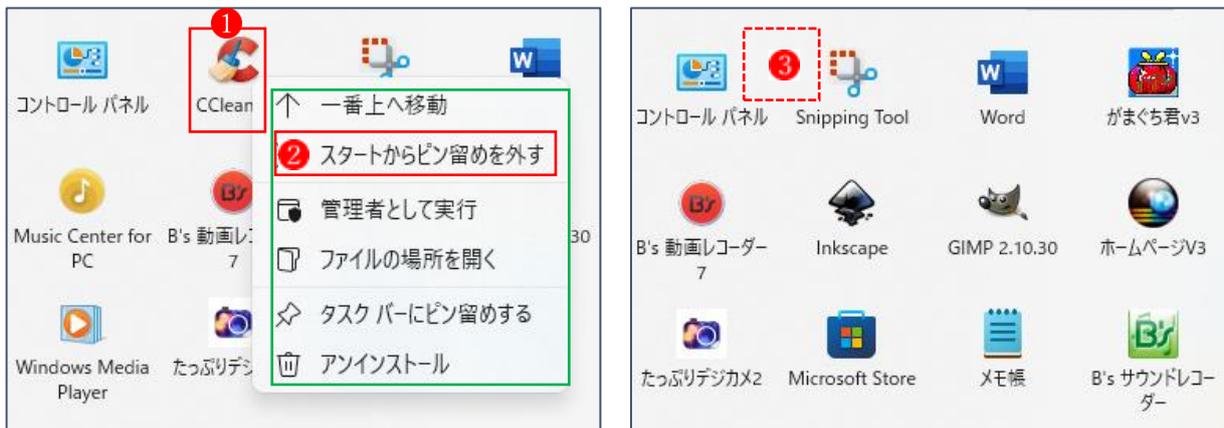


(4) ピン留めしたアプリのアイコンを使いやすく配置する

- ① 移動したアプリのアイコンをドラッグ①して、配置したい場所でドロップ②すると、アプリのアイコンが移動③します。



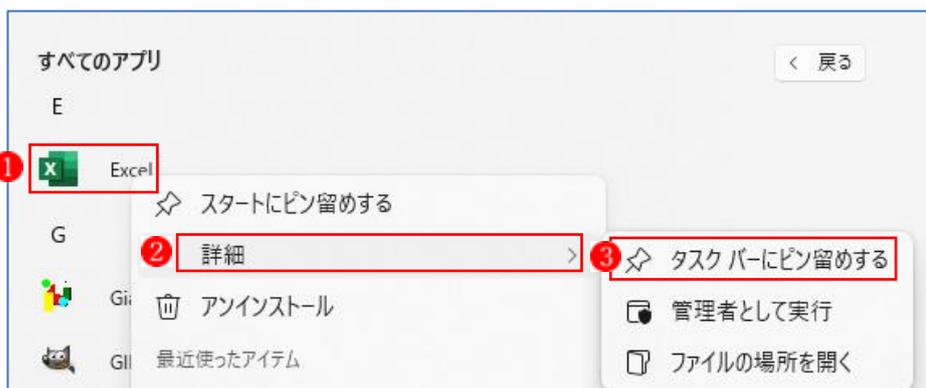
- ② 不要なアプリのアイコン①の上で右クリックし、<スタートからピン留めを外す>②をクリックすると、アイコンが削除③されます。



(5) タスクバーに「よく使うアプリのアイコン」をピン留めする

タスクバーによく使うアプリのアイコンを登録しておく、すばやくアプリを起動することができます。

- ① スタートメニューからすべてのアプリを表示し、「よく使うアプリ」（ここでは Excel）のアイコン①の上で右クリック→マウスポインターで「詳細」②→「タスクバーにピン留めする」③とたどり、最後にクリックします。



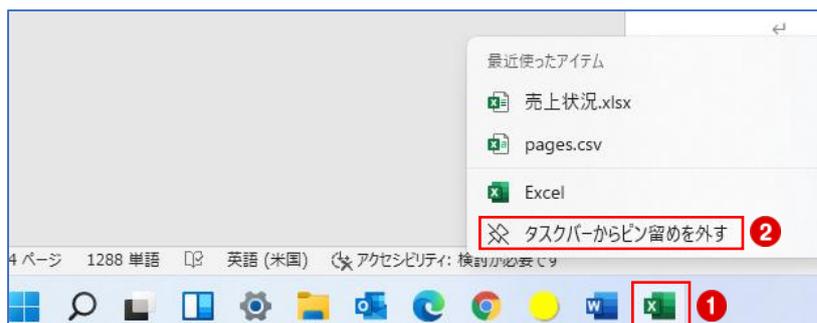
- ② タスクバーに Excel のアイコン①がピン留めされます。



★ タスクバーのアイコンは、アイコンをクリックしたままドラッグ&ドロップすることで好きな場所に配置できます。

- (3) タスクバー上にピン留めした「よく使うアプリのアイコン」を削除する

- ① タスクバー上からピン留めを外したいアプリのアイコン（ここでは Excel）①の上で右クリック」します。



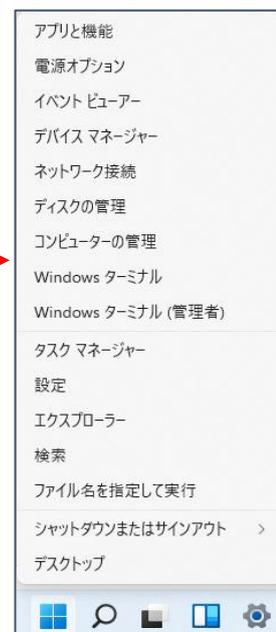
- ② 右クリックメニューから「タスクバーからピン留めを外す」②をクリックします。
→ Excel のアイコンが削除されます。

2 <スタート>ボタンの機能

- (1) <スタート>ボタンをクリックすると、<スタートメニュー> が表示されます。(※上記「3 <スタートメニュー>の操作方法」参照)

- (2) <スタート>ボタンを右クリックすると表示されるメニューには、電源オプションやデバイスマネージャー、ネットワーク接続など、Windows の設定や高度な機能呼び出すための項目が用意されています。

スタートボタンを右クリック
して表示されるメニュー



(3) <電源>ボタンの機能

<スタート>ボタンをクリックして、<電源>ボタンをクリックすると、右のメニューが表示されます。

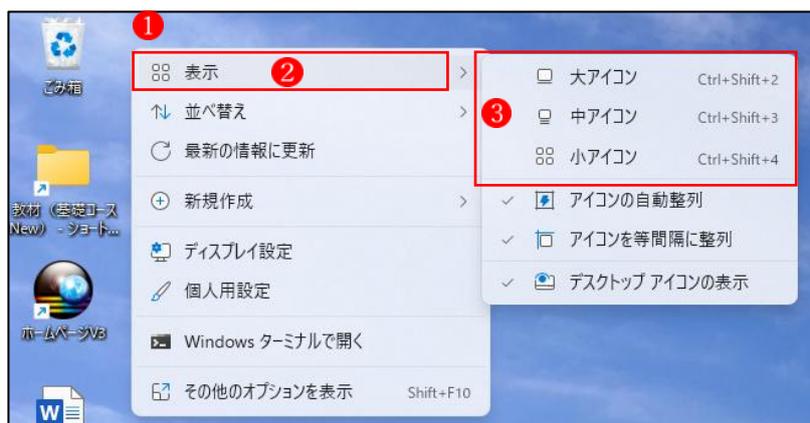


- ① <シャットダウン>①をクリックすると、パソコンの電源が切れます。
- ② <スリープ>②をクリックすると、画面表示をオフにして、必要最小限の電力消費で待機状態にします。
- ③ <再起動>③をクリックすると、パソコンが再起動します。
「再起動」とは、Windowsをいったん終了し、パソコンの電源を入れた時のように最初から起動し直す動作のことです。
再起動は、システムに不具合が生じて作業が行えなくなったときや、各種設定の変更、システムのインストールやアップデートを実行した際に使用します。

3 デスクトップアイコンの表示

(1) デスクトップアイコンの大きさの変更

デスクトップアイコンの大きさは、3種類の大きさの中から選択することができます。デスクトップの広さやディスプレイのサイズに合わせて、見やすい大きさに変更しましょう。



- ① デスクトップ上①で右クリックし、「表示」②にマウスポインターを合わせます。
- ② 次に、アイコンのサイズ③を選択します。

- ### (2) デスクトップアイコンを移動させる
- デスクトップに表示されているアイコンは、ドラッグして好きな場所に移動させることができます。ただし、デスクトップアイコンの自動整列機能が有効になっていると元の場所に戻ってしまうので、あらかじめ無効にしておきましょう。



- (3) デスクトップアイコンを整理する
アイコンの並びを整理するには、「アイコンの自動整列機能」を利用します。

自動整列機能を有効にした後は、既存のアイコンが等間隔に並び、新たに追加したアイコンも自動的に整列するようになるので、デスクトップが常に整理された状態に保たれます。



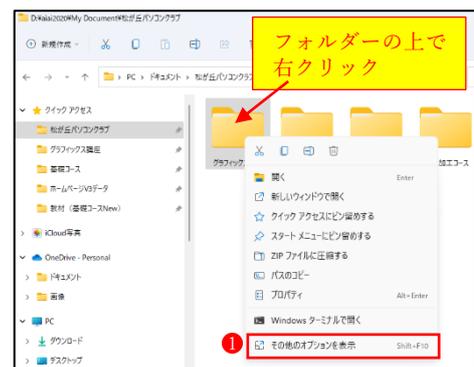
- ① デスクトップ上^①で右クリックし、「表示」^②にマウスポインターを合わせます。
- ② 「アイコンの自動整列」^③を選択します。

4 デスクトップにショートカットを配置する

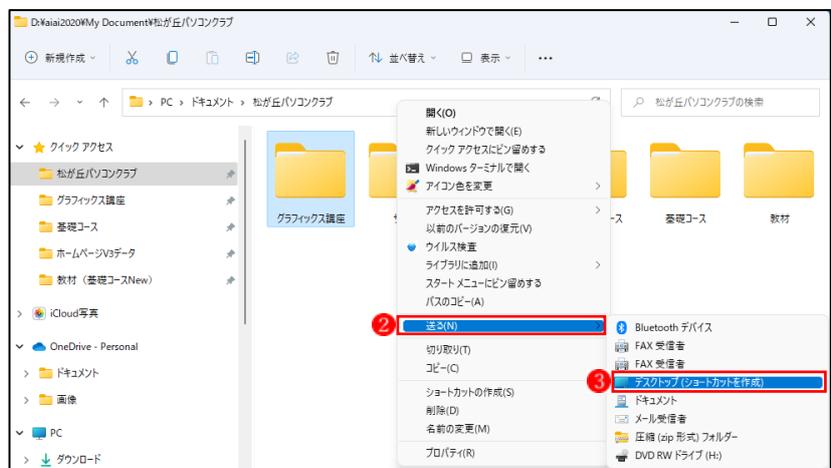
デスクトップによく使うフォルダーやアプリのショートカットを配置しておくくと便利です。

(1) デスクトップにフォルダーやファイルのショートカットを配置する

- ① エクスプローラーでフォルダー（ファイル）を右クリック、続いて「その他のオプションを表示」^①をクリックします。



- ② オプションメニューが表示されたら、「送る」^②から「デスクトップ（ショートカットを作成）」^③をクリックします。これで、デスクトップにフォルダー（ファイル）のショートカットが作成されます。



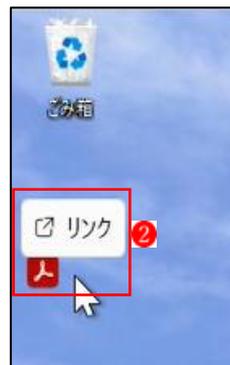
(2) デスクトップにアプリのショートカットを配置する

デスクトップにアプリのショートカットを作成する方法は複数ありますが、次の方法が一番簡単です。

- ① スタートメニューの「すべてのアプリ」から、デスクトップにショートカットアイコンを作りたいアプリ①を選択します。



- ② アプリのアイコン①をデスクトップへドラッグし始めると「リンク」②と表示されます。

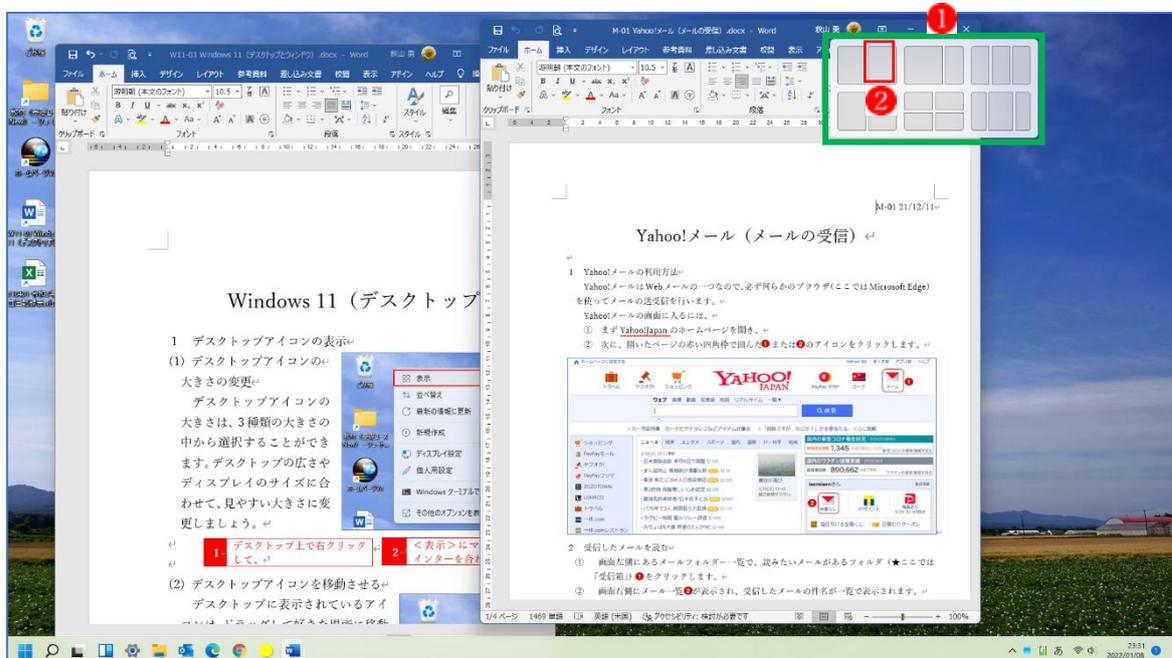


- ③ デスクトップの適当な場所でドロップします。アプリのショートカット③ができます。

5 複数のウィンドウをきれいに並べる

Windows 11 ではウィンドウの最大化ボタンからスナップする方法も用意されています。

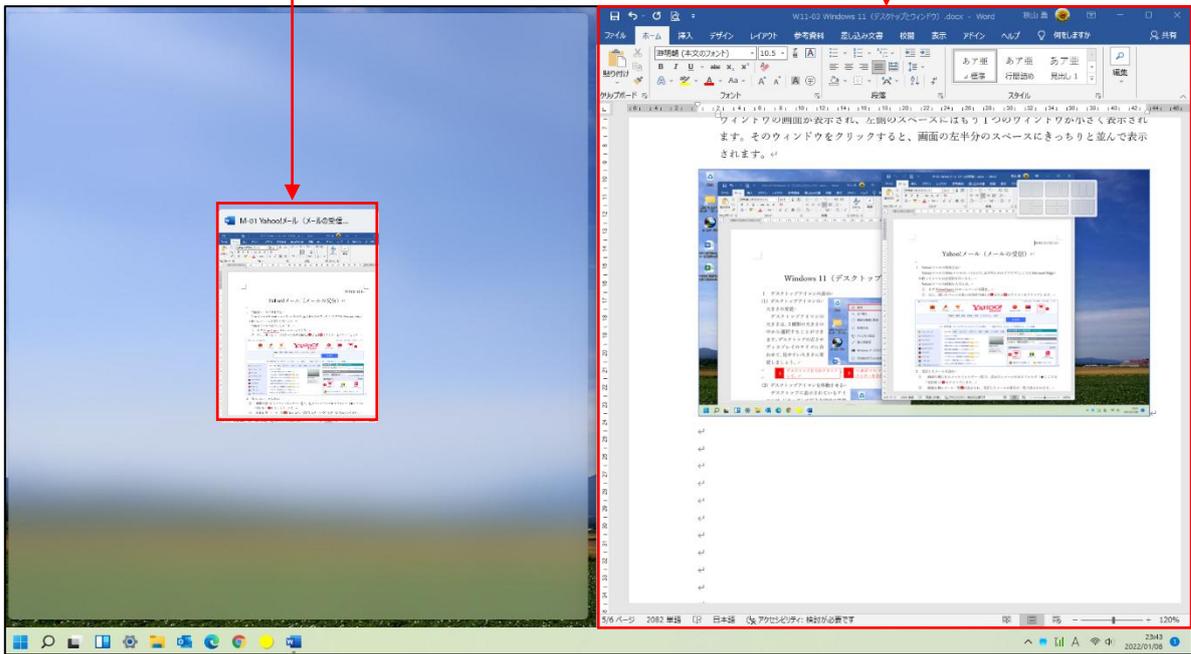
- ① 2つのウィンドウが開いている状態で、最前部のウィンドウの<最大化ボタン>の上にカーソルを合わせると、6種類の画面分割の表示①が現れます。



- ② ここで、2分割画面の右側部分②をクリックすると、デスクトップ画面の右半分以最前部のウィンドウの画面が表示され、左側のスペースにはもう1つのウィンドウが小さく表示されます。

残ったウィンドウの画面が小さく表示されます。

最前部にあったウィンドウの画面が右半分に並びます。



- ③ 左側に表示されている小さいウィンドウをクリックすると、画面の左半分のスペースに拡大されてきちんと並んで表示されます。

